

第9回大阪大学COIシンポジウム

幼児からのケアで個々人の社会寿命を延伸
～ニューノーマル時代に備える～

【Web開催】
2020年12月7日(月)
～12月11日(金)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、かつて経験したことのない局面を迎えています。このようなニューノーマル時代においても、我々のビジョン“一人一人が自らの力で課題を克服していく、積極的自立社会の実現”が少なからず貢献できると考えています。具体的には、心身の成長に最も重要な幼年期の健全な発達を促し、社会寿命を脅かすストレス性疾患を抑える技術の開発・社会実装に取り組んでいます。本年はWeb形式で開催します。ぜひ、ご参加ください。

～ビデオストリーミング～

ご挨拶 主催者 金田 安史 研究リーダー（大阪大学 理事・副学長）

ビジョナリー リーダー 小池 聡 氏（ベジタリア(株)代表取締役社長/
COI STREAM ビジョン2ビジョナリーリーダー）

全体概要 「大阪大学COIの目指す姿」
上野山 雄 プロジェクトリーダー（パナソニック(株) 客員）

- 成果報告
- (1) 乳幼児・学童期の健やかな脳・マインドの育成
 - ①「双方向性睡眠教育アプリの開発と社会実装」
吉崎 亜里香 特任助教、谷池 雅子 教授（大阪大学）
 - ②「自閉症児の社会性向上」
菊知 充 教授、吉村 優子 准教授（金沢大学）
 - ③「コミュニケーションの可視化による教育現場の活性化」
八木 健 教授（大阪大学）、合田 徳夫 氏（㈱日立製作所）、中島 寿宏 准教授（北海道教育大学）
 - (2) 免疫系への効果の解明
 - ①「ストレス物質としての核酸」
熊ノ郷 淳 教授（大阪大学）
 - ②「シリコン製剤による体内水素発生と酸化ストレス性疾患の予防と治療」
小林 光 教授、島田 昌一 教授、今村 亮一 准教授（大阪大学）
 - (3) 生体情報の検知
 - ①「シート型 微小生体信号計測システムの研究開発と社会実装」
関谷 毅 教授（大阪大学）
 - ②「涙液からのストレス物質検出」
谷口 正輝 教授（大阪大学）
 - ③「顔画像によるストレス検知」
森田 幸弘 氏（パナソニック(株)）

～パネル展示～

ポスターセッション
（全テーマの成果事例をポスター形式で紹介）

登録方法：以下のwebサイトよりお申込み下さい（登録無料、12月1日事前登録開始）
<https://www.coistream.osaka-u.ac.jp/symposium/symposium2020/input>

閲覧期間：2020年12月7日(月)～12月11日(金)

お問合せ：大阪大学 センター・オブ・イノベーション(COI)研究推進機構
(Tel:06-6879-4988/email:coi-kouhou@coistream.osaka-u.ac.jp)

主催：大阪大学センター・オブ・イノベーション(COI)研究推進機構/金沢大学サテライト

